火おこし体験

概　要		古代の火おこしを体験させることを通して、火を起こす仕組みや熱の発生について理解を深めさせる。また、理科の「仕事」や「熱」、社会科の歴史学習と関連付け、昔の人々の暮らしや知恵について考えさせる。
ねらいとして 考えられること		① グループで協力して火おこしに取り組むことを通して、仲間との親睦を図り、人間関係を深めることができる。 ② 火おこしの仕組みや原理を学ぶことを通して、火の発生に関する知識や理解を深めることができる。
対　象		小学校中学年から
人　数		５０名まで
場　所		屋外（打合せ時に所員が指定）
時　間		30 分～1 時間程度
指導員		自主活動
活動時期		通年（冬期は風が強くなるため、活動に不向き）
経　費		なし
事前に準備確認するもの		なし
引率者の役割	活動前	① 所員と活動場所・所要時間や指導内容を確認し・活動物品を受け取る。 ② 参加者にトイレを済ませるよう指示する。 ③ 活動開始５分前までに所定の場所に整列させ、人員点呼を行う。 ④ 活動内容や注意事項について説明する。 ⑤ 参加者を活動場所へ移動させる。
	活動中	① 協力して活動できているか観察する。 ② 火傷に注意させる。
	活動後	① 所定の場所に整列させ、人員点呼を行う。 ② 活動物品を回収し、数量や状態を確認する。 ③ 活動を振り返らせる。 ④ 活動物品の返却をする。
安全上の留意点		火種がついた火口（ほくち）には、直接手で触れさせない。
その他		＜貸出物品＞ 火切り板、火きり棒、麻ひも 